

令和4年  
8月号  
通巻第40号

# 塩釜シルバーだより

発行

公益社団法人塩釜市  
シルバー人材センター

塩釜市尾島町18-17  
☎ 022-367-5940

## 6月29日(水) 令和4年度定時総会 ホテルグランドパレス塩釜

総会は昨年度に続き今年も新型コロナウイルス禍が収まらない中、出席者を縮小して本人出席23名・委任状125名(会員総数279名)のもとで開催されました。

会議は、先に送付された「令和4年度定時総会議案書」に従って松本正明議長のもと進行され、議事は全て全会一致で承認されました。諸活動の詳細は議案書をご覧ください。

令和3年度は、会員33名減少して279名となり、新型コロナウイルス感染症拡大により研修会・講習会・各種イベントが中止に追い込まれるなど厳しい一年でしたが、会員みなさんの努力、市当局をはじめ関係機関の適切な指導援助と市民各層の深いご理解ご協力を頂きながら、公益法人として高齢者が自ら培った知識や経験を生

かし、地域に開かれた事業を推進してまいりました。

令和4年度におきましても、

### ”安全は全てに優先する”

を基本として、地域貢献及び塩釜市民より満足いただけるシルバー人材センターとして各種事業を推進してまいります。(事務局長)



## 「明日に向かって」

「塩釜市シルバー人材センター」は今年で創設39年、又「公益社団法人」となって9年目を迎えることが出来ました。

創設以来様々な困難があったと思います。しかし職員の人数が少ない中で昨年度末には業務係長の退職にもかかわらず局長をはじめ職員各位が業務の仕事を分担し懸命に頑張ってきました。その結果大幅な赤字を徹底した経費削減を行ないながら令和3年度には1千700万円という正味財産を計上することが出来ました。

その様な中、今回永年に渡り「塩竈市役所」において経理又総務と幅広く歴任されました佐藤勝美さんが会員として入会されました。

そしてもうひとかたが「ハローワーク」からの紹介で7月1日に工藤諭さんが入社されました。

工藤さんは北海道の某会社に赴任されておりましたが、塩釜に永住したいとの思いから当センターを希望されました。

今後は職員4名から6名となり個々の負担も

## 理事長 引地 榮 五 (月見小4班)

軽減されるものと期待しております。

さて「シルバー人材センター」は高齢者の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された団体であります。

高齢者の生きがいの充実、健康の保持・増進や地域の活性化、又医療や介護費用の削減などに貢献し、高齢者の受け皿としての役割を行政と共に果たして行く団体であります。

少子高齢化の中、労働力不足が深刻化しております。社会経済の重要な担い手として増々重要視されております。

「安全第一」を最優先とし「公益社団法人」として市民に親しまれ尊敬される団体となる様に見て歩んで行きたいと考えております。

コロナ禍で中止せざるを得なかった各行事、サークル活動、ボランティア等の実施を検討し、行っていくことがお互いのコミュニケーション造りに大切と事と考えております。

「自主自立共働共助」のもと、今年も皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 任期満了に伴う役員改選において次の方々を選任されました

**理事長 引地榮五（再任）(月見小4班)** 今年は役員改選の年に当たり、去る6月29日の定時総会において不肖私が理事長に再任されました。理事・監事に再任・新任された方々も心良く引き受けてくださった事に感謝申し上げます。

「塩釜市シルバー人材センター」を更に充実したセンターにして行く為にも「やり残した仕事がある」という使命感から引き受けられた事と思います。今後も会員の皆様のご指導を頂きながら、理事・監事の方々と共に努力して行きたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。友の会会員の皆様には、日頃、当センターにご協力戴きましてありがとうございます。



**副理事長 和賀正志（再任）(杉小2班)** 会員の皆様、日頃の御協力に心より感謝申し上げます。「安全は全てに優先する」という私達の考え方を単なるスローガンとしてではなく、過去に経験した先輩や仲間を失った悲しみ、苦しみを二度と起こさないように、常に意識し、お互いを気遣い合い活動していきたいと思えます。声を掛け合いながら、微笑みながら仕事をしていけるよう心がけていきたいと思えます。これからもよろしくお願い申し上げます。



**理事 木村幸子（再任）(杉小2班)** 最近高齢者を幸齢者と表しているのを見て思わず笑顔に。シルバーで働き社会貢献をしてる。皆様はまさに幸齢者だと思います。

私が働く上で心掛けていることは、シルバーの看板を背負っているという自覚を持ち、誠意のある丁寧な仕事をしなければということです。その思いをぶれないで持ち続けたいと自戒しております。

まだまだ新米の私は解らぬこともあり、とんちんかんな訊き方や提案をし、赤面もしますが、会員の皆様が入会して良かったと思えるように、小さな声も大切に拾い上げ、職員の方達と共に考えていけたらいいなあと願っております。

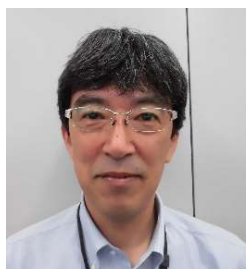


**理事 原田益子（再任）(月見小1班)** 新型コロナウイルス禍でいろいろなことが出来なくなって寂しかったのですが、少しずつできる様になってきて、また皆さんに会えるのを楽しみにしております。

頑張りましょう！



**理事 佐藤勝美（新任）(月見小4班)** 新たに理事に選任していただきました佐藤勝美と申します。シルバー人材センターでの活動が今年5月からと期間も短く、若輩者ではありますが、これまでの行政での経験を活かして、少しでも会員の皆様のお役に立てる様に努力してまいりますので、よろしくお願い致します。



**理事 草野弘一（新任）(塩竈市子ども未来部部長)** シルバー人材センター会員の皆様こんにちは。この度塩釜市シルバー人材センター理事に就任いたしました。塩竈市福祉子ども未来部部長の草野弘一と申します。市役所の部長という立場ではございますが、皆様から見ればまだまだ若輩者でございます。高齢者の生きがいづくりのため、微力ながら尽くしてまいりますので、人生の先輩である会員の皆様方におかれましてはご指導下さいますようお願い申し上げます。



**理事 菊田芳弘 (再任)(事務局長)**

引地理事長のもと、“安全は全てに優先する”を基本として、地域貢献及び塩竈市民より満足をいただけるシルバー人材センターとして各種事業を推進してまいります。

皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



**監事 小松幸雄 (再任)(二小1班)** 監事に就任して5年目に入ります。就任当初、前年度の期末残高が520万円という負債を抱えており、負債を解消する為に

如何にしてシルバー会員数を増やし、新規事業を拡大し、無駄な経費の削減をすること、理事会では毎回のように真剣な提案や意見交換したことを覚えています。そして令和元年の9月に「財務改善対策検討委員会」を立ち上げ、私も委員の一人として参加し、委員会での改善提案事項を理事会に報告してきました。

事務局の職員の努力も相俟って、多少なりとも改善が出来たのではないかと考えております。

現在は会員の皆さんの努力のお蔭で財務状況は改善されておりますが、これからも微力ながら皆さんの理解と協力を得ながら、より良い塩釜市シルバー人材センターとなるよう、理事会では監事としての立場から意見を述べてゆきたいと考えております。

**監事 気仙 叶 (新任)(三小2班)** 今回、監事に選任承認されました気仙です。

生まれは、福島県福島市です。塩竈に住んで34年になり、「塩釜市シルバー人材センター」の会員になって10年になります。

未だ未だ知識・経験不足ではありますが、監事の職務を一生懸命させていただきます。今後共よろしくお願ひ致します。

「好きな言葉」

”我以外皆我師也”

※ **前理事 小林正人氏(塩竈市健康福利部長)** におかれましては、塩釜市シルバー人材センター活動への多大なるご指導・ご尽力いただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくご支援のほどお願ひ申し上げます。

**永年表彰授賞者の皆さんおめでとうございます益々のご活躍を祈念します!**

氏名	所属班	氏名	所属班	氏名	所属班
松田 明美	三小2班	濱本 満夫	杉小1班	五十嵐 清司	杉小2班
千葉 優子	月見小3班	菊地 清雄	月見小5班	三浦 晃	月見小4班
原田 益子	月見小1班	山下 國男	杉小2班	原田 義男	月見小1班
井上 つや子	一小3班	赤羽 清一	杉小1班	福田 和夫	杉小3班
布田 利子	玉小2班	鉄 実	玉小2班	甲田 記夫	月見小2班
内田 仁	二小6班	菅野 茂	月見小3班	伊藤 勝善	二小7班
鈴木 昭司	一小2班	伊藤 博	月見小2班	本館 勝明	二小5班
米倉 一男	杉小2班	板宮 徳行	三小1班	安川 久	二小6班





## 安全で安心な就業のために

賛助会員

遠藤株式会社 代表取締役

遠藤 康浩

公益社団法人塩釜市シルバー人材センター様、会員の皆様には常日頃から大変お世話になっております。

当社はセンター会員様の傷害保険、賠償責任保険等の担当をさせていただいています。

普段よりご理解ご協力をいただきまして御礼申し上げます。

近年は新型コロナウイルスや地震等の自然災害が複数回発生するなど、困難な状況が続いています。そのような中、地域のためにウイルスバスター隊をはじめとする日常業務に邁進されているセンターの職員、会員の皆様に敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

さて、日頃から私共が対応しております事故の中からセンター業務に関連する例を挙げさせて頂き、今後の事故防止の参考にしていただきたいと思います。

第一に、やはり自動車事故です。仕事でもプライベートでも自動車は必需品になっています。ここ2年間はコロナの影響による外出機会が減ったことにより、一時的に損害率は減少していますが、日常が戻っていくにつれて損害率も上昇するであろうと考えられます。その中でも追突事故と出会い頭の事故が約6割となっています。

ほんの少しの注意で回避出来る事故が少なくありません。体調の悪いときは無理してハンドルを握らない、時間に余裕を持って行動する等が大切です。

第二に、草刈り時の事故です。その中でも飛び石により、現場近くの建物や自動車に傷をつけてしまう、草刈機で誤って近くにいる人の腕を傷つけてしまう、欠けた刃が目の近くをかすめる等の事故がありました。チームで仕事を行うと思いますので、まずは横の連携をきちんと行うことが大切です。

- ①現場の周りには障害物がないかを確認する。
- ②ある場合は防護ネットを張る。車を移動してもらう。自分たちの身を守る対策としては
- ③長袖の衣類を着用する。
- ④ゴーグルを着用する。等々の対策を実施していただきたいと思えます。

第三に、植木剪定などの脚立を使うお仕事です。どんな場合でもヘルメットを必ず着用し、命綱をつけることをお願いします。また、近年、頻繁に発生している地震をはじめとする自然災害についても触れたいと思えます。

こちらについては、その発生が予測できず甚大な被害をもたらしています。すこしでも被害を軽減し、日常業務や生活を復旧させるためにセンター事務局様において[BCPの策定]を実施することも会員様をお守りするうえで大切であろうと思えます。

最後になりますが、公益社団法人塩釜市シルバー人材センター様の益々の発展と職員、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

シルバー人材センター

活動の基本

“安全はすべてに優先する”



# シルバーって何だろう

杉小1班

佐々木康悦

じいちゃん どこへ行くの  
 シルバーに行くんだよ  
 うーん シルバーってなあに  
 シルバーって行く所がなくて行くのじゃない  
 行く所があるから行く  
 町内会だって同じだ  
 やる事がなくてやるのじゃない  
 やることがあるからやるのだ  
 仕事って何だろう  
 あてにされているから行く  
 人に役立つことがある  
 そして 人に喜んでもらえれば  
 今までの経験のたった一つでも役立つなら  
 それが社会の一助になれば  
 然(さす)れば一欠けらの意義がある  
 はじめての仕事に喜びを  
 皆で 笑って 語らって 喜びを  
 サークルでの楽しみを

皆で共有することができたなら  
 子供達の見守り隊もそうだ  
 今は子供達の傘となり  
 やがて その子供達が成長したなら  
 その者たちの傘の下になる  
 人の一生ってそんなものではないか  
 今は できる限り  
 働ける喜びを サークルの楽しみを  
 これが シルバーだ



## ◇ シルバー人材センターとは ◇

シルバー人材センターとは、「高齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づき設立された公益社団法人です。

豊富な知識・経験・技能を持つシルバー世代が仕事や社会奉仕活動等を通じて、生きがいのある生活を送り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会に貢献することを目的としています。

健康で働く機会が欲しいという会員に、**臨時的かつ短期的又は軽易で高齢者に向いた安全な仕事**を紹介しています。さらにボランティア活動など社会貢献に役立つ事業の企画、運営、実施を行っています。

## ベトナムと塩釜をつないだオンライン

来日前に塩釜の様子を少しでも知ることにより生活や就労を軽減させるため。



三嶋伸美さん



遠藤由美子さん

### 「鯖の塩焼き」おじいちゃん、これはなんて読むの？

株式会社Work & Care

代表取締役 三嶋伸美

こくらほほ一むTownプロジェクトマネージャー 遠藤由美子

私（遠藤）の父は病をきっかけに仕事を引退。生活に張りを失くし、ふさぎ込む日々が続いていました。そんな時、私が仕事で出会った介護海外実習生と交流する機会がありました。学校卒業後、家族の生活のために日本に来る実習生もまた、様々な不安を抱えて入国します。特にご利用者様と生活を共にする介護領域では日本の普段の生活や習慣を理解することが大切ですが、それを学ぶ機会はありません。日本に身寄りもなく、安心して相談出来る人もいません。父はそんな彼らから、漢字の読み方等の質問に答えていきながら、元気を取り戻していきました。

この経験から高齢者と介護実習生の抱える問題を見直し、介護サービス利用者に年齢の近い高齢者が実習生と入国前から交流し、日本の生活文化や習慣を教え、高齢者と心を合せる「リアル」な体験をしてもらう。入社後も高齢者が一貫してサポートし、まるで家族のような居場所を日本につくって安心して仕事に取り組める環境を整える。これを実現するために「こくらほほ一むTown」を立ち上げました。

記念すべきスタートの地に、宮城県の介護施設様、塩釜市シルバー人材センターの皆様とのご縁を賜り、交流の機会をいただきました。実習生が直面するであろう「方言、気候、孤独」という問題を解決するテーマで、身内のような存在として先生になってくれる方はいないか？菊田様にご相談し、木村様、小松様ご夫妻とのご縁を賜りました。

3人の先生方は実習生のことを懸命に考え、ノートいっぱい伝えることを準備してくださって。そのお姿に触れた時、感謝の気持ちで涙を堪えるのに必死だったのを覚えています。そしてそ

のお気持ちは参加実習生に温かく真っ直ぐに伝わっていきました。

ベトナムと塩釜をつないだオンライン交流の感想には、

「方言は日本語をより豊かで親しみやすくします」「日本、宮城、介護の仕事がどんどん好きになりました」「介護の仕事はご利用者さんを家族の様に大事にすることです」「先生スキーでも一緒にやりませんか」「会社で先生と仕事できますか」「先生にはどうやって連絡できますか」と紙いっぱいメッセージが書かれていました。

参加した実習生は、塩釜市シルバー人材センターの皆様と出逢えて、本当に幸せだと思います。

こんなに温かい出逢いで、たくさんの海外からの若い皆様をお迎えできたら、きっと世界中が素敵な笑顔で溢れていくはずです。これからも一所懸命、取り組んでまいりますので、末永くお力添え賜りますよう、どうかよろしく願いいたします。

三嶋:[nobumi.mishima@work-and-care.com](mailto:nobumi.mishima@work-and-care.com)

遠藤:[nedaijob888@gmail.com](mailto:nedaijob888@gmail.com)



## ベトナム人看護実習生の塩釜での活躍を祈ります

杉小2班 木村幸子

左：オンラインで“折り鶴”を指導する木村先生

ベトナムからの介護実習生が塩釜の施設で働く事が決まったので、入居者と年齢の近い高齢者から、事前にオンラインで塩釜の行事や折り紙・方言を紹介してとの話を依頼されて好奇心が強い私は躊躇うことなく受けました。

ベトナムである程度の日本語を覚え、東京で40日ほど介護の研修をし、塩釜の施設で即戦力として期待され働く。初めての外国の町での生活の不安は想像以上のはず。私達との繋がりや短時間ですが、ああこんな感じの高齢者が住んでいるのか、又塩釜の文化や行事等を知り塩釜は住み易いかもと感じてもらい、生活しながら徐々にこの街に人に親しみを持ってくれたらいいなと思いました。

日本ではベトナムからの実習生が一番多いそうです。塩釜でも水産会社で働いていますね。ベトナムの娘さん達は高齢者に優しく接してくれるので評判が良いと聞きました。その優しさが施設の利用者さんに響き、一緒に働いている仲間、利用者さんの家族へと伝播してくれたら素晴らしいと期待し願っています。

いずれ団塊世代の施設利用者は増え続けるのは必須です。施設では個々の尊厳を重んじられ穏やかにゆったりと過ごしたいものです。

利用者さんの横にはベトナムの介護士さんと日本の介護士さんが、にっこり微笑んでいる・・・と想像しています。

### オンライン講座：「折り紙」の歴史



オンラインで折り紙指導中

- 7世紀初めに大陸から紙の作り方が日本に伝えられました。その後、日本で、さまざまな工夫がされ、薄くて丈夫な紙「和紙」が生まれました。
- はじめ、紙の重要な用途は写経や記録でしたが、神事にも用いられるようになり、神への供物など様々なものを「紙で包む」ようになりました。
- 贈り物などを包んだとき、紙に「折り目」がつくことに着目して、包みを美しく折って飾る「儀礼折」が生まれました。
- やがて礼法や決まりから離れて「折り方そのものを楽しむ」ようになったのが「折り紙」です。
- 江戸時代に入ると紙の生産量も増え「折り紙」はいつそう庶民に親しまれるようになりました。そして寛政9（1797）年には世界で最も古い折り紙の本「秘傳千羽鶴折形」が出版されています。





## ベトナムの実習生受け入れ

### オンライントークに参加して

二小1班 小松幸雄

ゴールデンウィークに入る前、シルバー人材センターの事務局より思いも掛けない電話がはいった。「ここらぼほ一む」という会社からの依頼で、塩竈の介護老人施設のグリーンヒルズに介護職の海外実習生として来る二人のベトナムの若い女性の為に、塩竈の風土や方言や介護に関する助言などの説明を、パソコンのオンラインで行うので参加してくれないかという内容の話であった。場所はシルバー人材センターの2階で、パソコンのセットは全て先方で行い通訳を介して行うという。

私は介護支援ボランティア活動の登録会員であり、「介護支援ボランティア活動だより」の新聞作成などに携わってきた関係もあり、また私の家内も介護施設の利用者さんの通院介助などの仕事をしている事でもあり、微力ながら少しでも役に立てるならばと、事務局からの家内共々二人で参加して欲しいという依頼を受ける事にしました。

何日かして、事務局より私のパソコンに動画添付のメールが入ってきました。動画は「ジャパンソーシャルビジネス サミット 2021」での発表会であり、その中に「ここらぼホーム」の発表もあるので見ておいて欲しいということでした。

「ここらぼほ一む」の発表内容を要約すると以下のようなものかと思われました。

※高齢者(65歳以上)の単身世帯者数は約660万人で、多くは生き甲斐を感じていない。

※海外実習生は日本の生活文化が分らず、仕事で使う地方の言葉が分らない。

※2025年では介護職が40万人が不足し、将来海外実習生は20万人が必要と思われる。

※高齢者の強みは、とても丁寧・人に優しい・持つことができる、などの特性がある。

※高齢者と海外実習生のつながりを生む事により、高齢社会に生き甲斐をつくる。

海外実習生が介護施設での実習期間中に、説明会に参加した高齢者と交流を持つことによって不安や悩みの解消となり、高齢者も楽しみや生き甲斐になってゆく。会社の企画のコンセプトはこのように事かと理解しました。

事業面での採算的な内容も述べられておりましたが、実習生受け入れ側からは一人につき入国前と入国後で5万円、オプションの実習中で3万円が支払われ、将来予測される実習生は20万人位との事。高齢社会の活性化にも結びつく事業なので頑張りたいと、サミットの主催者から激励されておりました。

オンラインを進めるにあたり、「ここらぼホーム」の代表者から連絡が入り、わたしの担当は塩竈の風土や日本の四季の行事などを、また家内は介護の仕事の心構えや認知症を持っている方の対応などを願いたいとの分担を依頼されました。

オンラインの資料づくりのため、塩竈の祭りや風土を調べていて思ったことは、塩竈市は塩竈神社を中心にして、年間を通じてなんとお祭りの多い事か、今更のように塩竈神社崇敬の心と町民の絆を大事にする伝統のある街であることが実感させられました。





1300年程前から船着き場として栄えた歴史の古い塩竈市は、平安時代の歌人により「塩

竈百人一首」として歌に詠まれた情緒豊かな由緒ある景勝地であり、温暖な海洋性気候で降雪量も少なく過ごしやすく、外洋は黒潮と親潮がぶつかる良好な漁場となっており、人口当たりの寿司屋の店舗数も日本一の港町であります。

5月13日、オンライン当日の本番では、上記のような塩竈の祭りや風土の特徴を紹介して、日本の四季の様々な行事の内容などを、通訳を介しての説明で、私の持ち時間は2時間でしたが、持ち時間ギリギリで無事終えることができました。ベトナムの実習生も、とても素直な理解の反応や質問などをされ、最後は塩竈市に来るのが楽しみ

### オンライン講座：塩竈みなと祭り

7月の海の日(第3月曜日)は日本三大船祭りの一つに挙げられている、塩釜では一番活気のある祭りです。

第二次世界大戦に負ける前の塩釜の活気を取り戻そうと、昭和23年に始められた氏子祭りが始まりです。

御神輿を市内巡行したあと「御座船鳳凰丸」に御神輿を乗せて、たくさんの供奉船を従えて、日本三景の松島港まで行き、また塩釜港に戻ってきます。

祭りの前夜祭には塩釜港で花火大会があります。多い年には約8000発の花火が打ち上げられ、海面を七色の輝きに染められる迫力のある花火大会です。

だと言ってくれました。

6月26日、ベトナムの実習生を含め関係者全員で塩竈神社見学の後、ホームタウンスティの最初の顔合わせを玉川公民館で行いました。ベトナム料理と日本料理を皆で作し、食事をしながら自己紹介や介護実習生として日本に来た目的を語ってくれました。日本の風土やアニメなどの文化を学びたいこと、お年寄りの世話や介助を覚えベトナムで活かしたいこと、またベトナムにいる家族の為にも頑張りたいなど、正直で真摯な希望を明かしてくれました。また中には日本の男性と結婚したいという胸の内を明かす女性もいて、笑いを誘いながらの和やかな雰囲気での食事会でした。

かつて妻と二人でベトナムを旅行したことがあります。ベトナム国民の芯の強さと親しみに接した経験があり、高齢者の自分ではありますが出来る範囲内で介護実習生と交流を持てたらと思っている次第です

また祭り当日には「よしこの塩竈踊り」のパレードも行われ、小学生から大人までたくさんのグループが参加しています。

塩釜市シルバー人材センターも毎回参加しています。





## 80歳 来し方に悔いはなし

玉小1班 水 沼 淳 二

父親から「仕事に貴賤はない。真面目に働けば人に認められる」、と背中を押されバス車掌職の第一歩として初任地、仙北鉄道（現宮城交通）気仙沼営業所に赴任したのは昭和36年3月でした。

仕事にも慣れてきたある日上司から「水沼君は将来何になる？」と問われました。はっきり言って、将来への方向性をもっていなかったので、「事務職にでもなりましょう」と答えましたが、上司は「事務職より運転士になれ。これからは車の時代だ。特にバス運転の資格を持つと、どんな所でも優遇される。」私の心中になかったバス運転士としての職業を、初めて意識させられた瞬間でした。

その上司の一言が私の、そして私の家族の日々の糧を食む基盤となったのです。

私が唯一大きく悩んだ事象がありました。バス会社からの転職を考えた事でした。運転職から事務職に異動させられてから何年か後、日々の業務に自身の能力の限界を知り、毎日の出勤に足取りの重さばかりが感じられました。

そんな折、仙台市の医療機関の求人を知り応募したところ採用されたのです。しかし、長い年月苦楽を共にして来た仲間のいるバス会社を辞することに、心の葛藤がありました。残るべきか、

去るを選ぶか。その心の揺れに妻が「自分の良いようにしたら」、と転職を容認してくれました。

新しい職場で役にたったのが乗り合いバス運転士の資格と経験です。受診者の送迎は全く苦にならず、毎日の業務に充実感がありました。

70歳まで働かせていただいた約15年間、無事故無違反そして利用者からの苦情が皆無の勤務を貫いたのです。そして今、シルバー人材センターに会員登録して、与えられた任務に誠意をもって励んでいます。

最近読んだ小説「舟を編む」（三浦しをん・作）で、作品の解説者が次のように記しています。

「自分の天分を活かせる仕事、好きでたまらない仕事に出会えることは、この上ない幸せである。しかし、そうでなくても、目の前の仕事に真面目に取り組むことで、誰もがその道の「プロ」となり誇りをもてるものだと、励まされる。」・・・まさにシルバー人材センターの仕事を言え得ているが如しです。

12月に満80歳を迎えます。仕事上にあっても、家庭生活においてもなんら悔いなく毎日毎日を精一杯に送ってきました。この上に望むものはありません。体が動くうちは生涯現役でありたい。ただそれだけです。



気仙沼湾 神明崎

# 昨年度末前業務係長菅野克弘さんが退職し、新年度に二人が入社しました

シルバー会員・新理事として頑張ります

月見小4班

佐藤勝美



今年の5月半ばより、シルバー人材センターのパートとして勤務しています。基本的には火曜と木曜日の週2回の勤務です。

趣味は麻雀と川柳です。シルバーの会員にも登録させていただきましたので、麻雀のクラブにも参加させて頂く予定です。

昭和32年1月9日に塩釜市で生まれました。

父の仕事の都合で小・中・高等学校を気仙沼市で過ごしました。

その後、故郷の塩釜市役所に就職し定年まで37年間勤務した後、市立病院に嘱託として勤務、マンション管理員を経て、シルバー人材センターにパートとして勤務することになりました。妻と二人暮らし。

今後共よろしくお願ひします。

# 早く業務を覚えて即戦力になりたいです

塩釜市舟入 工藤諭



今年の7月1日付け当センターに採用になりました。

昭和52年1月15日山形市で生まれました。

両親(父77歳、母71歳)

は山形県東村山郡中山町に住んでおり、二人とも中山町シルバー人材センターの会員です。

前職山形県南陽市から多賀城市に異動、令和3年3月塩釜市舟入に自宅を購入しました。

今年2月に北海道に異動後6月末に退職し、7月当センターに採用されました。

小学校から中学校まで軟式野球、その後大学で

軟式野球サークル。社会人になってからはモーニング野球を楽しんできました。

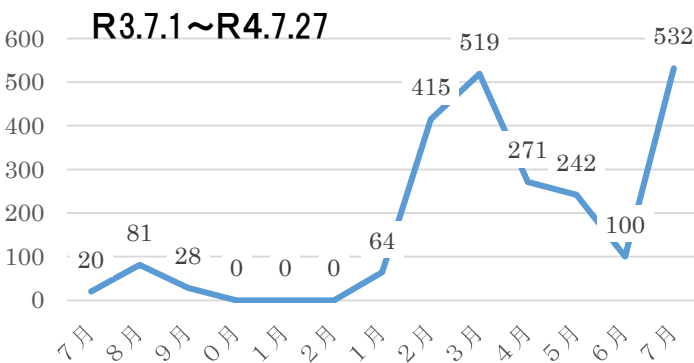
塩釜市に居を構えてからは楽天スタジアムでの生ビールを飲みながらの野球観戦を楽しんでいます。

幼少時代、毎夏浦戸諸島石浜の民宿に泊まって海水浴に来たのが楽しい思い出です。

毎日、私と妻のお昼のお弁当を作るのが趣味になって居ります。家族は妻と雄雌(兄妹)の猫。

早く業務を覚えて即戦力になりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

塩釜市新型コロナウイルス陽性患者月別発生人数



塩釜市のコロナ陽性患者数は、左のグラフが示すように一時3月をピークに減少しておりましたが、6月から再度上昇傾向に転じ、7月に月別過去最高の人数を記録しております。

収束の見通しはまだたっておりません。

ひとり一人が基本的な感染防止対策を講じ、感染拡大の未然防止に努めましょう。



# 紙 上 サ ロ ン

このページは、皆さんの作品＝詩・短歌・俳句・川柳・  
絵画・書道・写真等々＝を掲載し、人と人との交流の  
場といたします。是非ご応募ください！

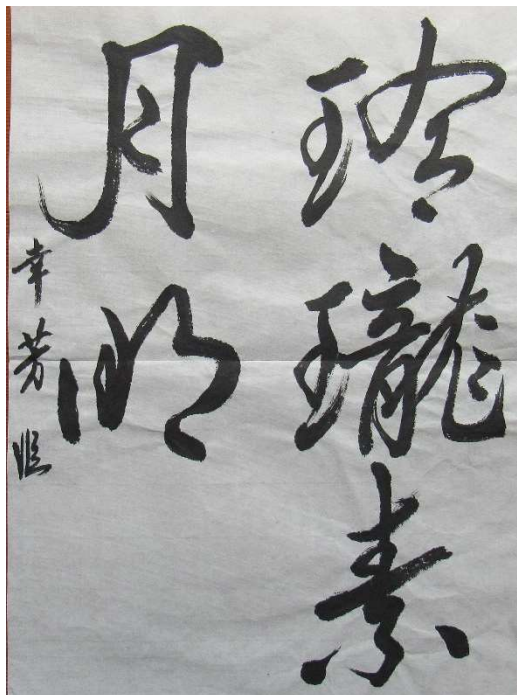
## 川柳傑作作品集

## 佐藤 勝 美

佐藤さんは趣味として「川柳」をたしなみ、その作品を「60歳からの情報紙シルバーネット  
(発行所宮城シルバーネット)」に投稿する等腕を磨いております。その作品の一部を紹介します。

- ★ 断捨離で、聖徳太子に、ご対面
- ★ 義父（おとうさん）と、呼ぶな貴様は、まだ候補
- ★ 見るたびに、寿命が延びる、孫の顔
- ★ 長島に、なりきり遊んだ、三角ベース
- ★ どこ違う、見たけどわからぬ、月の石
- ★ 風呂敷を、マントに活躍、スーパーマン
- ★ 投信で、老後の生活、一喜一憂
- ★ 実益も兼ねたそば打ち、皆そっぽ
- ★ 同窓会、3人寄れば、病自慢
- ★ 骨密度 計ってビックリ ヤングマン

- ☆ コロナ禍の 日焼けの後は マスク型
- ☆ 人生の 最後の面倒 お葬式
- ☆ 酒、タバコ 止めて財布が 健康に
- ☆ 頻尿で 我慢大会 バス旅行
- ☆ 政治家より 牛にほしいな 二枚舌
- ☆ 電話帳 友より多い 病院名
- ☆ サプリより、孫とデートで、若返り
- ☆ 頭髪は、薄いがここぞと、胸毛見せ
- ☆ 太陽の ストーカーだね ひまわり君
- ☆ 動物が 混浴相手 秘湯の湯



上は、3年振りに開催された「第75回塩竈みなと祭り陸上パレード（よしこの塩竈踊り）塩釜市シルバー人材センター友の会の皆さんです。

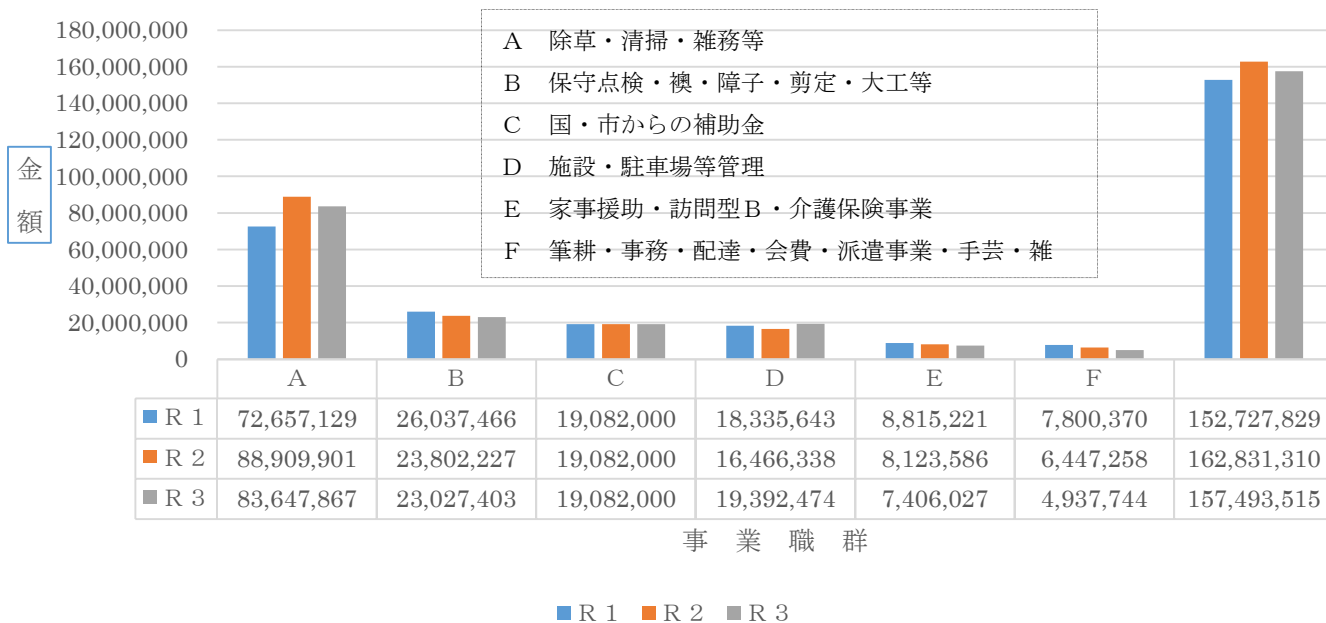
写真撮影 三小2班 鎌田辰夫さん

左は、塩釜市藤倉 鈴木常予さん の作品です。  
鈴木さんは、シルバー人材センター「ハウスクリーニング班」に毎年末仕事を与えて下さっております。  
鈴木さんは、公民館書道教室で趣味として書道を学んでおります。

### 令和3年度 収支決算概要

経常収益(歳入)		経常費用(歳出)		当期経常増減額		
				当期一般正味財産増減額		
1	受託事業	134,352,023	1	事業費	148,684,940	
2	独自事業	3,500	2	管理費	4,759,080	
3	派遣事業等	812,633				
4	介護受託事業等	2,666,090				
5	正・賛助会員会費	570,000				
6	国・市からの補助金	19,082,000				
7	雑収	7,269				
計		157,493,515	計	153,444,020		4,049,495
一般正味財産期首残高(令和3年度一般正味財産期末残高)					13,559,147	
正味財産期末残高(令和3年度一般正味財産期末残高)					17,608,642	

### 令和元・2・3年度 事業職群別等経常収益比較



### 編集後記

「塩釜シルバーだより」への掲載原稿をよろしくお願いいたします!

新型コロナウイルス禍は今尚収まる気配はありませんが、会員各位のご理解・ご協力により「令和4年度定時総会」を無事終えることが出来ました。

3年振りに開催された塩竈市が全国に誇る一大祭典「塩竈みなと祭り陸上パレード「よしこの塩竈」に元気で参加出来てとても良かったと思っております。

就業面では、ベトナムからの介護実習生が宮城の施設で働くということで、木村さん・小松ご夫

妻が来県する実習生に対するオンライン講座に講師として参画出来た事は、国際交流につながるとても素晴らしいことであり、シルバー人材の活躍の場が更に拡大した感じがします。

世情はまだまだ厳しい状況にありますが、コロナ禍の収束を祈りつつ・明日に向かって希望をもって頑張りましょう。

次回発行は来春1月を予定しております。

皆様から原稿をお待ちしております。(畠山)





直前の総練習



公益社団法人 **さあ出陣!**  
**塩釜市シルバー人材センター**  
 塩釜シルバー友の会



## 第75回塩竈みなと祭陸上パレード【よしこの塩竈踊り】



公益社団法人  
**塩釜市シルバー人材センター**  
 塩釜シルバー友の会

コロナ禍の中ではありましたが17回目の参加となりました。

よしこ連の「深澤泉先生」ご指導のもとに計4回の練習を行い、延べ80名が参加されました。

祭りには、小松友の会会長、理事長・事務局長以下総勢31名(サポーター3名)が参加し、シルバーパワーを発揮して塩竈市が全国に誇る一大祭典を盛り上げることが出来ました。

写真撮影  
 三小2班 鎌田 辰夫





## シルバー入会よりの思い出として

杉小3班 小野 健 蔵

私がシルバーへ入会したのは、平成19年で今年で約16年になろうとして居ます。

その間、仕事と共に7年前より友の会の世話役を要請され、今日に至っております。

その間一番の思い出としては、何と言っても、友の会のレクリエーションがあります。会員と共に旅行した事は楽しい思い出として忘れる事は

きません。

ここ3年程は新型コロナの影響で開催できませんでしたが、又皆さんと共に楽しい旅行を出来ることを、願って居る次第です。

長い間会員の皆さんの御協力ありがとうございました。

これからもサークル活動等で、皆さんと楽しんでゆきますので、よろしくお願い致します。

## 塩釜市シルバー人材センター友の会新役員（任期：令和6年度総会の日まで）



監事 櫻井俊二 (二小4班)	総務 畠山孝繁 (玉小1班)	副会長 菊地文志 (三小4班)	会計 高山勝道 (二小2班)
----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------

監事 鎌田芳江 (三小2班)	庶務 阿部シツ子 (杉小3班)	会長 小松幸雄 (二小1班)
----------------------	-----------------------	----------------------

### 塩釜シルバー友の会 会則

- 第1条 この会は、「塩釜シルバー友の会」と称し、事務所を会長宅に置く。
- 第2条 この会は、センター会員をもって組織する。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦と融和をはかり、センターと密接な連携を保ちながら併せてより良いセンター運営に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
  - 1 会員の親睦をはかること
  - 2 趣味、娯楽、スポーツ、旅行等に関すること
  - 3 勉強会等の開催に関すること
  - 4 その他会の目的達成に必要なこと
- 第5条 この会に、次の役員を置く。
  - 会長 1名 副会長 1名 総務 1名 庶務 1名 会計 1名 監事 2名
  - 2 役員は友の会の会員から選任するものとする。
  - 3 上記の役職は役員の互選とする。
  - 4 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 5 役員に欠員が生じた場合の補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 第6条 この会の会議は、総会及び役員会とする。
  - 2 総会は毎年1回年度終了後3ヶ月以内に開催する。
  - 3 役員会は必要と認めるとき会長が召集する。
- 第7条 この会の経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。
  - 2 会員は別に定める会費を収めるものとする。
  - 3 この会の業務を行うため、必要な経費は会費及びその他の収入をもってこれに充てる。
  - 4 この会の会計年度は、4月1日より3月31日までとする。
- 第8条 その他必要な事項は役員会で別に定めるものとする。

令和4年  
新年号

## シルバー友の会だより

発行  
塩釜シルバー友の会  
塩竈市尾島町18-17  
Tel 022-367-5940

## 令和4年度友の会総会開催：新友の会会長に小松幸雄さん

センター定時総会終了後、シルバー友の会総会が開催され、出席された会員から、色々なご意見を頂戴いたしました。原案通り可決承認されました。「役員改選」につきましては、役員の互選により決定した役員名を報告させていただきました。2期4年間、会の運営にご尽力頂きました「小野健蔵さん」が勇退され、新会長に「小松幸雄さん」が就任され、監事の「菊地文志さん」が副会長に、その後任監事として「鎌田芳江さん」が就任することとなりました。小野さん、長い間会の発展にご尽力下さり誠にありがとうございました。



## 友の会会長就任挨拶

二小1班 小松幸雄

この度友の会会長に就任しました小松です。

日頃会員の皆様には友の会の事業計画にご理解ご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。省みれば私が塩釜市シルバー人材センターに入会したのは、「シルバー友の会」のサークルであるパソコンクラブに入会を勧められたのが契機でありました。

パソコンクラブには「シルバー友の会」の役員をやっていた大先輩や、現在私が所属している表具班の大先輩など個性豊かな会員が多数おりました。毎週木曜日のパソコンクラブの例会では、まずコーヒータイムから始まり、世情を賑わしている時の話題や個人的な関心の事柄など、様々な情報交換を語り合うことで会員の交流を深めてきました。

シルバー人材センターは共働・共助・の理念のもとに高齢者に仕事を提供する法人組織ですが、仕事をするだけでなく会員同士の交流や親睦を図ることが、高齢者の楽しみや健康維持の為の大切な要素と思われれます。更にはシルバー会員の福利厚生を多少なりとも補う補助的な性格も合わせもっているものと考えております。その

観点からもシルバー事務局とも緊密に連携を取り合いながら事業計画を進めて行きたいと思っております。

2020年の年初から始まった新型コロナウイルス感染防止の為に、一部のサークル活動を除いて、定期総会で承認された計画を中止せざるを得なかったことが残念でなりません。今年度に入り4回目のワクチン接種も始まり、「ウイズコロナ」の観点から諸々の緩和措置がとられ、スポーツ観戦やお祭りなど規模を縮小して行われるようになりました。

塩竈でも港祭りの「よしこの塩竈おどり」パレードを規模を縮小して行われる事になりました。「シルバー友の会」としましてもそのような傾向を勘案しながら、マスクの着用や手の消毒などの対応をとりながら、可能な限り計画事業を実施の方向で考えて行きたいと思っております。また出来るだけ多くの会員が参加しやすいような企画も考えて行きたいと思っております。私を始め役員一同、「友の会」会員の皆さまの意に添えるよう頑張りたいと思っておりますので、宜しくご協力の程をお願い申し上げます。